

傳設計ニュースレター

CONTENTS

◆今、伝えたいこと ～もう春です～

◆設計業務TOPIX

☆受注しました！

・広島商船高専専門学校

☆着工しました！

・千早2丁目ビル新築工事

☆定期報告は建物の健康
診断

☆建築Q&A

・避難安全検証法って？

◆キャッチフレーズ決定

◆2014年4月の新卒採用始まりました

◆無料建物相談会 開催予定

<予定告知>

◆社員名鑑

◆会社情報

今、伝えたいこと ～もう春です～

2013年を迎え、2ヶ月が経ちました。何となく光が柔らかくなってきたように思う昨今ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私の今年の個人的な目標は昨年に引き続き、設備設計一級建築士に合格する！です。社員の中にも、年初に「新しい資格を取得して自分磨きをしたい」と言う者がおり、みんなの努力が報われる年になれば、と思っています。一方、プライベートも充実させてほしいですね。何かと時間に追われる仕事ですが、工程を管理し、時間をつくり、家族との時間や自分のための時間を大事にして欲しいと思います。

このニュースレターが皆様のお手元に届く頃はもう3月ですので、今さらな話かもしれませんが、本年は巳年で、いわゆる蛇年です。十二支では「巳」と書きますね。この「巳」という字は、胎児の形を表した象形文字で、蛇が冬眠から覚めて地上にはい出す姿を表しており、「起こる、始まる、定まる」などの意味があるようです。安倍総理大臣もいろいろなところで使っていますよね。

昨年はオリンパス粉飾決算事件や半導体大手のエルピーダメモリ破綻、ソニーなど大手家電メーカーの大幅赤字など大企業ですら経営的に窮地に立たされ、日本経済は疲弊しきったように思えました。一企業の努力だけではカバーしきれない流れの中で、設計事務所だけではなく、あらゆる業種の企業が大変な思いの中で活動をせねばなりません。東日本大震災から2年も経つというのに、未だ「復興した」とは言えない状況に対して、何もできない自分が無力にも思えた年でもありました。

今年は、というと、日本経済は緩やかに回復し、2013年の後半には消費税増税前の駆け込み需要が見込まれるというのが専らの見解です。政権も変わりましたし、「起こる、始まる、定まる」という巳年でもあります。そして春。2013年の経済政策に大いに期待し、設計業界全体が発展することを望みます。

(代表取締役 岩本茂美)



★懇意にいただいている方とタイへ。中華料理店にいるだけのようにも見えますが。

岩本（下列・中央）★

岩本 茂美 (いわもと しげみ)

株式会社傳設計 代表取締役

<最近のマイブーム>

皆さん！ゴルフの季節になってきましたヨ。ゴルフはやっぱり春！夏になったら「ゴルフはやっぱり夏だ」とか言い出しそうですが…。1月にタイでゴルフをしたのですが、ボールが飛ぶ！飛ぶ！あの感触、忘れられません。まぐれだったのでしょうか。そうではないと信じて、一緒に行って下さる方を大募集します。



ゴルフ、最高！

受注しました！～プロポーザル・広島商船高等専門学校～

昨年末に簡易公募型プロポーザルにて、広島商船高等技術教育センター棟他改修設計業務の設計者に選定されました。同校のプロポーザルでは、2年半前の学生寮新築設計に続き2度目の選定となり、たいへん嬉しく思っています。

広島商船高等専門学校は瀬戸内海に浮かぶ大崎上島にあり、明治時代からの長い歴史を持つ学校です。校舎からは美しい海を望むことができ、素晴らしい立地環境です。

今回の設計内容は、築40年以上の技術センター棟(鉄筋コンクリート造平屋建)と船舶総合実験棟(鉄骨造平屋建)の機能改善を目的とした耐震補強及び耐震改修です。



★現在の技術センター棟★

学校の長い歴史を見守ってきたこれらの施設を今後も使い続けることは、在校生や卒業生など学校関係の方々にとってたいへん意義があることだと思います。そして地域環境の保全、さらには地球環境の保全にもつながっていくことであります。そのため、学校関係の方々や地域

の方々の記憶にずっと残る建物にしたいと思いながら設計を進めています。この設計業務を通じて、建物を残すことの意味、大切さを立ち止まって考えたいと思います。(濱田)



★以前設計させていただいた学生寮★



★校舎から望む瀬戸内海の夕景★

傳設計 設計業務

着工しました！～千早2丁目ビル新築工事～

弊社が設計をさせていただいておりました、千早2丁目ビルが昨年11月より着工致しました。現在は1-2階の躯体工事を行っています。

工事を進めながらも設計の内容を段階的に見直したり、カースキームの検討を行ったりと、設計者としてまだまだ考えなければならないことがたくさんあります。また、現場監理の仕事もさせていただいています。現場監理とは、現場監督とは違い、工事を設計図書と照合し、それ

が設計図書のとおり施工されているかどうかを確認する業務です。品質、工程、安全の3つを基本に行われます。

その他にも各種検査、施工図、施工計画書のチェックなど、工事を進めて行く上で、工事監理者が行うべき仕事はたくさんあります。



★基礎の配筋状況★

こうした検査、チェックを怠ると、当然よい品質の建物は提供できないため、ぬかりないようにしなければなりません。また、工程(スケジュール)

ル)、安全(足場、仮囲い、作業方法)についても同様です。



★生コン打設時検査★

建物のベースは共同住宅となっておりますが、1-3階に地元の建設会社様の本社社屋があり、そこにはたくさんの想いが詰まっています。その想いをカタチにできるよう、努めてまいります。

完成は今年7月末。その時が楽しみでなりません(西村)。



★支持地盤の確認★

NEW&HOT TOPIX

定期報告は建物の健康診断

皆さん、「定期報告」という言葉をお聞きになったことがありますか？

建築物が地震や火事、事故にあった場合、財産的な損失だけではなく、利用者の生命も危険にさらされます。それは、その建築物の所有者や管理者の社会的責任にもつながります。例えば、昨年起きた石川県のホテルでのエレベーター事故。エレベーターに乗り込もうとした際、扉が開いた状態でかごが上昇したため段差につまずき、そのまま上昇。かごの床と扉上部の枠に挟まれて

一人の方がお亡くなりになったというもの。ホテルには家宅捜索が入り、世間を騒がせました。

そのようなことがないように、建物の所有者、管理者、占有者は定期的に建物の健康診断をしましょう、というのが「定期報告」です。



具体的には、

【建築物の外部の状況】

看板の取り付けは問題ないか？壁はひび割れていないか？

【建築物の内部の状況】

防火扉、防火シャッターに異常はな

いか？室内の防火性能は問題ないか？

【避難の状況】

通路、階段が物品でふさがっていないか？非常用照明は作動するか？などの観点から欠落部分を早期に改善していくものです。

皆さんの建物は大丈夫ですか？

定期報告は、特定行政庁から書類が届くことからスタート。調査は一級建築士等の有資格者に依頼する必要があります。届いた書類と図面を準備され、相談されてください。もちろん、傳設計でも対応できますので、お声かけください。(中野)



方は重要だったと思っています。

実は、こういうことが提案できるのも平成12年の建築基準法の改正で性能規定の一部として「避難安全性能」という考え方が導入されたからです。建築全体もしくは階全体が避難安全性能(※1)を有することが確かめられた場合、排煙設備や内装制限など避難関係規定の一部適用が免除され、必要最小限の設備に抑えることが可能となり、その結果として、建設コストの削減、余分な設備の排除による設計の自由度が向上したものです。



★排煙設備の例(窓)★



★防煙たれ壁の例★

設計の自由度が高いこともいいことですが、避難安全検証法を適用した建物は安心感が違いますね。N. U.さんお分かりいただけましたか？弊社ではルートBによる設計を行っています。え、ルートBって…？ですよね、それはまた別の機会にお話ししますね。

(※1)避難安全性能とは全ての居室の火災に対して、「階に在する者」が避難上支障がある高さ(ルートBの場合、床面から1.8mの高さ)まで煙やガスにさらされずに直接階段まで避難できることを言います。(中野)

Q) 先日のグループホームでの火災は人的、物的に大きな被害をもたらし、改めて火災の恐怖を思い知らされました。もし自分が同じような被害にあった時、的確な行動(避難)ができるか心配です。先日「避難安全検証法」という法律があると知りました。一体何のことですか？(久留米市 N. U.さん)

A) NUさん、お便りありがとうございます。災害で命を落とされる方は残念ながら多くいらっしゃいます。

以前、弊社で4万㎡の2階建ての倉庫の設計を行いました。火事などの災害があったとき、女性は2階から飛び降りることができないかもしれない、という考えから階段は二ヶ所造りましょう、といったご提案を致しました。結局実現しませんでした。考え

建築Q & A 避難安全検証法って？

キャッチフレーズ決定

想い・安全・未来をカタチに。

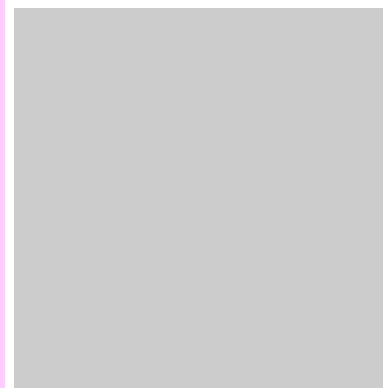


先般、弊社は22周年を迎え、その折にキャッチフレーズを決めました。きっかけは、ある設計事務所さんのメール署名欄。キャッチフレーズが掲載されていて、会社の想いも伝わるし、社員間で共通の認識が生まれるし、いいなと。そこで、早速公募。当社は、傳設計という社名ですので、「傳」という字を使ったものが多かったのですが、社員の圧倒的支持を集めたのが「**想い・安全・未来をカタチに。**」というもの。そこで、見事キャッチフレーズが特定された構造担当、山口に話を聞いてみました。

川上(以下K): 山口さん、キャッチフレーズの特定、おめでとうございます。
山口(以下Y): ありがとうございます。まさか、特定されるとは思っていなかった
ので、びっくりしました。

K: どのような思いでキャッチフレーズを作られたのですか?
Y: 建物が形になるまでに、大切にしていることを言葉で伝えたいと思って。
K: ん?と云いますと?
Y: いろいろあると思います。例えば、施主さんや設計者の想い、安全に対する社会的責任、人と地域と建物のこれから・・・などなど。ですが、それらのプロセスや気持ちの部分はなかなか目に見えてこないと思うんです。ですから、それを「カタチ」と表現しました。
K: なるほど! 実際に設計をして、お客様と向き合っているからこそ、って感じですね。皆様、今後とも「想い・安全・未来をカタチに。」を胸に頑張る、傳設計とその社員をよろしく願います。(川上)

社員名鑑 vol.6



年齢: 26歳(社歴11カ月)
所属: 設計1部
主な業務: 意匠設計
趣味: 旅行。今はインドに興味があります。生きているうちに出来る限り多くの国を訪れたいです。宇宙旅行もおばあちゃんになる頃には安くなっているはず・・・。

設計を志したきっかけは、受験勉強をする際に将来について考えたことでした。当時、人の性格や人格、行動の元になる周囲の環境というものに興味がありました。今考えると、学校の設計であれば教育のことや子どものこと、病院の設計であれば病気や手術、患者さんのこと、住宅の設計であればその人、個人個人の人の人柄といったように、毎回その分野について勉強する必要があり、何にでも深く追求してしまう私には魅力的な職業だと思えます。将来的には、建物の分野・利用者に限らず、こだわりを持ったお客様と密な計画が出来るような仕事がしたいです。

2014年4月の入社新卒採用始まりました

弊社では今年も新卒採用を行います。今年で4回目の新卒採用となります。多くの学生さんにご関心を賜り、ありがたく思っています。3月にも会社説明会を行いますので、設計事務所で働くことに興味がある学生さんに、お越しいただき、弊社の仕事や働き方、先輩の考え方を知っていただければと思います。詳細はリクナビ2014をご覧ください。学生の皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。(川上)



無料建物相談会 開催予定

日頃のご愛顧に感謝し、香椎にお住まいの方を対象に建物相談会を開催する予定です(4月ごろ)。建物に関することなら、どんなことでもOK。詳細は折り込みチラシ、ホームページをご確認ください。直接のお電話もお待ちしております。

編集後記// 玄関先のプランターに植えていたチューリップの球根から芽が! いい感じ。/ 社員名鑑にも出ています磯邊がおしゃれmap(右)を作成しました。忙しい業務の間にあるがどう。/ 傳設計には、FACEBOOKページがあり、今年の目標は「いいね」を100いただくことです。/ いま42。あと58。/ 皆様ぜひ「いいね」をおねがいます。義理で何でもありがたいです。/ ニュースレターの作成にご協力いただきました関係各所の皆さまに感謝申し上げます。川上



株式会社傳設計

「想い・安全・未来をカタチに。」

〒813-0013 福岡市東区香椎駅前2-1-15

TEL : 092-672-8538

FAX : 092-672-8559

